



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

広
報

わたむき

第 48 号
発行 綿向生産森林組合
日野町大字村井1352

謹
賀
新
年



新年明けましておめでとうございます
組合員の皆様には
良きお年をお迎えのことと
お慶び申し上げます
本年も何卒宜しく
お願い致します

昨年を振り返りますと、「オリンピック・パラ
リンピック」開催はされましたが、コロナ感染
の影響で、厳しい状況となりました。

当組合に於きましても、6月開催の通常総
代会が昨年に引き続き書面による表決をお
願ひする状況となりました。

そのような中ではありましたが、改選になり
ました理事・監事の役員、第21期として新たな
スタートを切っております。

そのコロナ感染も11月には落ち着きを見せ
まして、総代さんによります山林巡視が2年ぶ
りに開催できました。

今年とは言いますと、6月には一年遅れまし
たが、第72回全国植樹祭が天皇皇后両陛下
をお迎えして、甲賀市「鹿深の森」で行われる
予定です。

御
挨拶

組合長
理事

嶋
村

寿
雄

山を守る者には、この式典は大きな意
義があります。これを契機としてコロナで
内向きになった機運に活気が戻ればと
思います。

全世界がコロナ・コロナに染まった2年
間ですが、昨年秋には国連の環境会議
「COP26」が開催され、地球温暖化の議
論が進められました。

国を始め県が取り組みを掲げた「2050
年 CO2排出量 実質ゼロ」。国は脱炭
素社会実現のための施策を示されつつ
あります。

私達組合も、この状況に対応すべく、
年中の「J-クレジット取得」に向け、手続
を進めております。

変わりつつある山の使命をしっかり見
据えて、次世代に向け持続可能で価値あ
る組合を創るため、役職員一同、新たな
気持ちで取り組んで参ります。

組合員皆様には、本年も変わらませず、
ご支援ご協力賜ります様お願いいたしま
す。

令和3年度 作業状況

主な作業の進捗状況

- 間伐 16.3ha 55%
 - 枝打ち 0.3ha 8%
 - 植林 1.95ha 57%
 - 作業路開設
4箇所 4,135m 103%
 - 林道草刈り 約 4km
 - 中電鉄塔草刈り 9基及び巡視路
- ※上記作業は委託を含みます。



伐倒作業



植林・ネット設置作業

委託作業を発注しました

林業に関わる労働者の確保が難しい中、組合直営作業は1名で作業を進めておりますが、作業路開設や植林作業においては、委託作業として発注を行い、作業効率の向上に努めています。



搬出作業

サントリーホールディングスさまとの協定林内で、間伐作業路の開設に携わっている 森杜産業の田邊社長 には、組合の他の山林でも作業をお願いし、綿向山方面（奥の平）では、約1,900mを、平子地先では、約700mを開設して頂きました。

11月に総代の皆さまには、ダム上流において、その工法などを巡視確認して頂きましたが、木材の搬出を機械化するには、大変重要な作業路となります。

写真は平子地先の深山谷で、以前には地滑り被害が発生していましたが、現在では被害もなく安定し、作業に支障はないようです。

一旦、山土場に搬出された木材（支障木）は、太さや曲がりを職員が確認し、県内外の市場や木材流通センター、木質チップ加工場などに仕分けし、トラックで出荷しています。

「ウッドショック」の影響で、2～3割ほど増額で販売できた時期もありましたが、現在ではほぼ以前の値段に落ち着いてきており、「ウッドショック」は終わったと感じております。



平子 山土場



蔵王地先 浄郷



蔵王地先 勝手谷奥

植林作業は、滋賀中央森林組合さまにお願いし、蔵王地先2箇所で「樹下植栽」という抜き伐りした山林内に介在して植林する方法です。

「コンテナ苗」ヒノキ2,000本と、クヌギ250本・コナラ250本を植林し、獣害防止対策として「幼齢木保護ネット」をそれぞれ設置しました。



保護ネットは、以前、パートナー協定を結んでいた「積水樹脂（株）」の製品1,000セット購入し、社員の方々にも確認して頂きました。

動物の行動を見たいと、定点カメラを設置するため、先日、現地に来られました。



定点カメラの設置

組 合 活 動 ・ 行 事

菌山入札会

9月11日、恒例の菌山入札会も、コロナ禍により、昨年同様に「預け札」だけの入札会となりました。

事務所玄関には「入札箱」を設置し、事前に入札された札を、当日9時から役員立ち会いのもと、開札を致しました。

売上の結果 112,300円(税別) 前年比96%

近年の異常気象も拍車をかけ、収穫は期待どおりには行かなかったようです。菌山販売にご協力頂きました方々、誠に有り難うございました。



開札の様子

総代代表者会

10月22日、林業センターにおいて、総代代表者会を開催しました。

山林巡視の日程説明や、J-クレジット取得の説明など行いました。

クレジット取得においては、現在、補助対象となる審査を終え、委託業務を締結する準備を進めております。



総代山林巡視

11月14日、蔵王の足谷地先において、総代68名様にお集まり頂き、間伐状況と作業路の状況について、巡視確認をお願いいたしました。



急峻な斜面でも作業路が開設され、今後の木材搬出には、必要不可欠な作業路となります。

地域調べ学習



11月11日、日野中学1年生14人が、綿向山周辺を主とした植物・環境についての学習に来所。

「ワタムキアザミ」の紹介や「獣害」に対する取り組みなど説明いたしました。

後日、お礼のお手紙を各自から頂きました。

新春 門松飾り



SGEC森林認証

12月16日、森林管理認証更新審査に、日本森林技術協会より2名の審査官が来所。

平成29年の取得から4回目の更新となりました。

次年度は、また取得申請が必要となります。



書類審査



現地確認

今年もまた、事務所玄関には大きな門松が飾られました。

役員OBの有志により設置され、お正月気分を高めて頂きました。

高さ約3メートル、10段の枝とあって、大変貴重な門松でした。



ホームページ

綿向生産森林組合

検索

SDGs と 綿向生産森林組合



SDGsとは「持続可能な開発目標」。「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界のみなで2030年までに解決していこう」という計画・目標のことです。

綿向生産森林組合の活動もSDGsにつながっています。



◆目標7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

木質バイオマス発電用燃料の供給



◆目標11「住み続けられるまちづくりを」



◆目標13「気候変動に具体的な対策を」

森林整備による土砂災害防止機能、
二酸化炭素吸収機能等の発揮



◆目標12「つくる責任つかう責任」

森林認証制度、合法木材証明、
間伐材マーク等の普及・推進



◆目標15「陸の豊かさを守ろう」

森林整備を通じた森林資源の保続培養



小さなお子様から、おじいちゃん、おばあちゃんまで、どなたでもできることです。

【雑学】

人間力向上LABO より

○お酒のテレビCMは、夜の18時から朝の5時までの間しか流れない。

○カチカチに固まった砂糖や塩は、電子レンジで加熱するとサラサラに戻る。

○世界中の人を1ヶ所に集めると琵琶湖に収まる。

○緑茶と紅茶とウーロン茶は全て同じ葉から作られている。

○アイスクリームには賞味期限がない。

○喉が痛いときにマシュマロを食べると痛みが和らぐ。

年賀状お楽しみ抽選 (組合が送付した年賀状) 抽選結果発表!

組合が送付しました年賀状

当選番号下2けた

24

誰に当たるかな...
(*~*)

わたむきんちゃん

当選番号下3けた

873

※当選された方は、年賀状をご持参のうえ当組合事務所までおこし下さい。商品券をご用意しております。

予 告

林産物特売会
令和4年3月5日(土)
開催予定